

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年6月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500153
法人名	株式会社 幸楽
事業所名	グループホーム こうらく園
所在地	鹿児島県薩摩川内市下飯町手打544番地 (電話) 09969-7-0900
自己評価作成日	令和3年4月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年6月7日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

手打海岸近くに立地し、潮風の音、においを感じながら、ゆっくりとお過ごしいただけます。  
また、利用者様のその日の気持ちに寄り添いながらになりますが地域行事にも参加し、地域の中の施設を意識して運営しています。  
施設は台所を中心とした配置で、共用部分の天井が高く、十分な広さがあり、ゆったりした生活スペースを提供しています。  
認知症の症状進行の緩和を目的に、利用者が我が家にいるように安心して過ごせるスペース、環境づくりに努め、楽しいレクリエーション、食事等を企画し、実行します。  
居宅生活への復帰を目指し、個性に合わせた、自立生活の援助を行います。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は1ユニットの事業所で敷地が広い。近隣に運営母体会社があり、社員の協力体制が築かれている。避難訓練等の参加協力が得られている。
- ・協力医療機関との24時間医療連携体制が築かれており、2週間に1回の往診及び緊急時にも適切な対応が図られている。週2回の看護師配置による健康チェックも行い、利用者・家族の医療・健康面における安心となっている。自粛や家族の面会制限が行われている中、可能な限り利用者がこれまでの生活やペースを継続して安心して過ごせるよう支援に取り組んでいる。
- ・代表者は、職員の確保に努め、増員による余裕のあるシフトと有休率アップ等、就業環境の改善に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念の周知教育を行い、理念に基づくサービスの実行ができています。	理念は玄関やホールに掲示し、重要事項説明書にも記載している。毎日の職員会議で理念の確認とケアを振り返り、理念に沿ったケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアや慰問の受け入れを行っている。各地域活動会議に参加し、多角的な地域活動への参加を模索している。(コロナ自粛)	自治会に加入し、施設長が役員となっている。コロナ禍のため地域行事は自粛し、ボランティア受け入れ等も含めて、地域との交流は困難な状況であるが、地域とのつながりを大切にしており、近隣から野菜や魚の差し入れもあり、地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議で認知症への理解を進めている。ご家族への説明も詳しく行っている。また、認知症への理解が浸透したことと地域のニーズに合わせ、共用型デイサービスの提供を開始。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域行事や独居高齢者などの情報収集及び意見を収集しサービスに反映させている。また、運営方針について相談し、地域のニーズの掘り起こしを行っている。	2ヶ月に1回の運営推進会議は、コロナ禍の為1回のみ実施し、他は書面開催としている。運営状況や外国人技能実習生受け入れに関する意見交換を行い、委員に事業所の取り組みへの理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>各種会議に参加し、運営上の問題を伝えながら、地域の問題についても施設から解決できるよう取り組んでいる（デイサービス等）。</p>	<p>市や支所の担当者とは、出向いて運営についての相談・報告を行う等、連携を密に図っている。必要時にメール・電話での連絡もしている。市主催の研修会に参加し情報を得る等、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設における身体拘束の定義を理解し、実践している。防止委員会の設置。</p>	<p>マニュアルがあり、2ヶ月に1回委員会及び研修会を実施し、事例を掲げて取り組んでいる。玄関の施錠はせず、利用者が外出する場合は職員が同行し、利用者の状況を見て声掛けして一緒に散歩をしている。自由で拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設における、虐待の定義を正しく理解し、実践している。防止委員会の設置</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>利用者の置かれている状況を通して、後見人制度について学ぶ機会を、職員会議で作っている。実際に利用されたことはないが、選択肢の一つとして、提示できるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>本人とご家族（身元引受人）の来園、見学を入所条件にしている。説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ケアプランに家族の意向を必ず記入してもらう。また、電話・FAXに限らずライン（SNS）を活用している。</p>	<p>利用者には日常の会話の中で希望を聞いており、食べ物の要望には家族と対応を協議中である。家族からの面会はリモートで対応し、電話やラインで把握している。コロナワクチン接種の拒否については家族の意向を受け入れ、今後も感染防止対策を継続することで対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議を開催し、反映している。また、施設長が申し送り等に出席し、状態を把握するよう注意している。</p>	<p>申し送りや毎月の職員会議で、意見を聞く機会を設けている。休暇取得の要望について職員増員で改善が図られている。施設長が個別相談や必要時の個別面談を実施している。</p>	
12	8	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談の実施などにより、環境整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	9	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員会議で問題点の指摘・改善の指導を行う。内部研修の実施。		
14	10	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	他事業所の事例などを職員会議にて展開。また、各種会議を通じて相互に提供できるサービスを検討中。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>会話の中から本人の意思。意向を聞きだし、ケアプランに反映するよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。また、電話対応は24時間受け付けている。また、SNSを通じたほぼリアルタイムでの状況伝達。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ケアプラン作成に反映させ、変更が生じた場合、家族の同意の上随時変更している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>良好な関係を築いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居者と入居者家族がつながるよう、連絡体制をとっている。SNSを通じた連絡体制。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナでなければ、訪問者は常時受け付け、面会していただいている。可能な限り本人の望む場所へ一緒に行くこともある。予防をして、買い物・美容室。</p>	<p>家族とのリモート面会や電話・年賀状等の交流を支援し、事業所からも毎月の近況報告及び電話・ラインを小まめに行って家族との関係が途切れないように努めている。また、美容室や買い物には職員が同行している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者がお互いの部屋を訪室することを特に妨げていない。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も、相談・連絡体制をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意思と、健康管理とバランスを保って接している。外出拒否・入浴拒否に対して、根気強く説得している。	日常の会話の中で要望等を自分から話されることが多く、「焼き肉が食べたい」「散歩が嫌だ」等、職員間で情報を共有し可能な限り対応に努めている。様々な拒否についても、家族と話し合い、本人の状況等により思いを汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	他サービスの利用記録または診療記録を入手し、ケアプランに反映している。入所後の、本人の希望、動向を注視し反映できている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の行動を記録している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常記録を参考にケアプランを作成している。	本人・家族に意向を聞き、遠方の家族には電話をして、職員会議で話し合い、担当者会議で主治医の意見を入れて介護計画を作成している。2ヶ月に1回のモニタリング時に小規模の手直し等を実施している。6ヶ月毎及び状況変化時には、現状に即した介護計画になるように見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者の情報は、職員間で共有できている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院時などの対応</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>できる限り、なじみの人との付き合いについて、継続していただき、必要な助言等による、利用者本人の、人の役に立つ実感を失わないよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけの医師の診察を受けている。2週間に1回の往診。細かく、薬の調整などを行っている。</p>	<p>診療所がかかりつけ医である。2週間に1回の往診と24時間対応の医療連携、看護師の週2回の配置により適切な医療を受けている。結果は家族に連絡している。眼科や他科受診はその都度指示を受け対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>パートタイマーで看護師を雇用し、知識を生かしている。協力医療機関との連携をとっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族との話し合い、医療との連携を図っている。また、加算にはならないものの家族の希望により、看取り介護を開始している。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について、特別養護老人ホーム等の選択肢を含めて説明している。重度化等の場合に家族の意向を確認し、看取り介護希望の場合は同意書をもらっている。家族の意向に沿って、かかりつけ医や看護師・職員で支援に取り組んでおり、看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>連絡体制および避難経路、場所を決定している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	協力体制を確保している。	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施している。コロナ禍の為、消防署は不参加であり、法人の職員が参加して訓練を実施している。緊急通報装置、スプリンクラーや消火器も設置している。防災設備は業者が定期的に点検している。非常用の備蓄は、10日分の水、3日分のインスタントラーメン・レトルト食品・カップ麺・御飯等の食料及びカセットコンロを確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議での職員への周知、家族様、来客様まで注意を周知している	研修を実施し、誇りやプライバシーを損ねないように、名前にさん付けでの呼びかけや排泄失敗時に羞恥心を感じさせない声掛け・対応を行っている。申し送りは利用者に聞こえないように配慮し、共通のノートで申し送っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限り本人の意思を尊重している。自由選択が困難な利用者に対しては、選択肢を提示することによる意思決定の尊重。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度のタイムスケジュールを管理しているが、本人の意向に沿う形で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類の選択、化粧等の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現利用者には共同作業はできないが、できる限り、食事を楽しめる雰囲気づくりに努めている。	職員が献立を作成し、旬の野菜や魚等の新鮮な食材を使って調理している。誕生日はケーキや好きな食べ物を、行事食のおせち料理・節句等、楽しい食事になるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>日常記録から個人の状況を把握し、支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>うがい、ブラッシング等のケアを介助して行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の体調に応じた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、時間を見ての声掛けや利用者の仕草等から自室トイレでの排泄を促している。身体状況により夜間のみオムツやポータブルトイレを使用する利用者もいる。排泄用品は個々に応じた物を検討し、布パンツへ改善した事例もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ヨーグルト、牛乳等を個人の口に合うようにして提供している。排便の記録。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>個人の意向に沿っている。</p>	<p>入浴は週3回午前中に実施し、発汗・汚染時にはシャワー浴を実施している。必要時は2人介助で、入浴剤を使用して入浴を楽しんでいる。嫌がる場合は無理強いせず、声掛けを工夫して対応し、週2入浴している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝をする方、ベッドではなく布団がよい方、個人の意向を反映している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者が服用する薬については、職員が理解している。医師と相談の上、調整等を行う。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個人の趣味・特技を日々の生活で取り入れられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>体調に応じて、家族・友人との外出を許可し、職員が付き添い外出することもある。</p>	<p>その日の本人の希望や体調に沿って声掛けし、庭や近隣の散歩を支援している。ウッドデッキで外気浴もしている。本人の希望で、感染症対策を行い美容室や買い物に職員が同行している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症の症状を見究め、所持させている人もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話、手紙の支援を行っている。時間を限らず、電話を取り次ぐ。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>常時、清潔にしている。</p>	<p>天井が高くゆったりとしたリビングは、広いウッドデッキにつながり開放感がある。空気清浄機はリビングや廊下に設置している。換気を十分に行い、季節の作品や飾り付けをして、思い思いにくつろげるように、廊下やリビングにソファ・椅子を配置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	インテリアを工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設から準備するものは最低限にしているので、使い慣れたものを入れられるよう、空間を確保している。	居室にはトイレと洗面台・エアコンが設置され、ベッド・タンスが置かれている。布団はリースである。本人が普段使っていたテレビ・冷蔵庫・仏壇・ラジオ・ポット・鏡等を持ち込み、家族の写真等を飾って落ち着いて過ごせるように部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺を全周配置し、居室入り口に名札を取り付け、一人で移動できるようにしている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない